

国立大学病院長会議 記者会見

令和7年3月7日 一般社団法人国立大学病院長会議 会長 大鳥精司



一般社団法人
国立大学病院長会議
National University Hospital Council of Japan

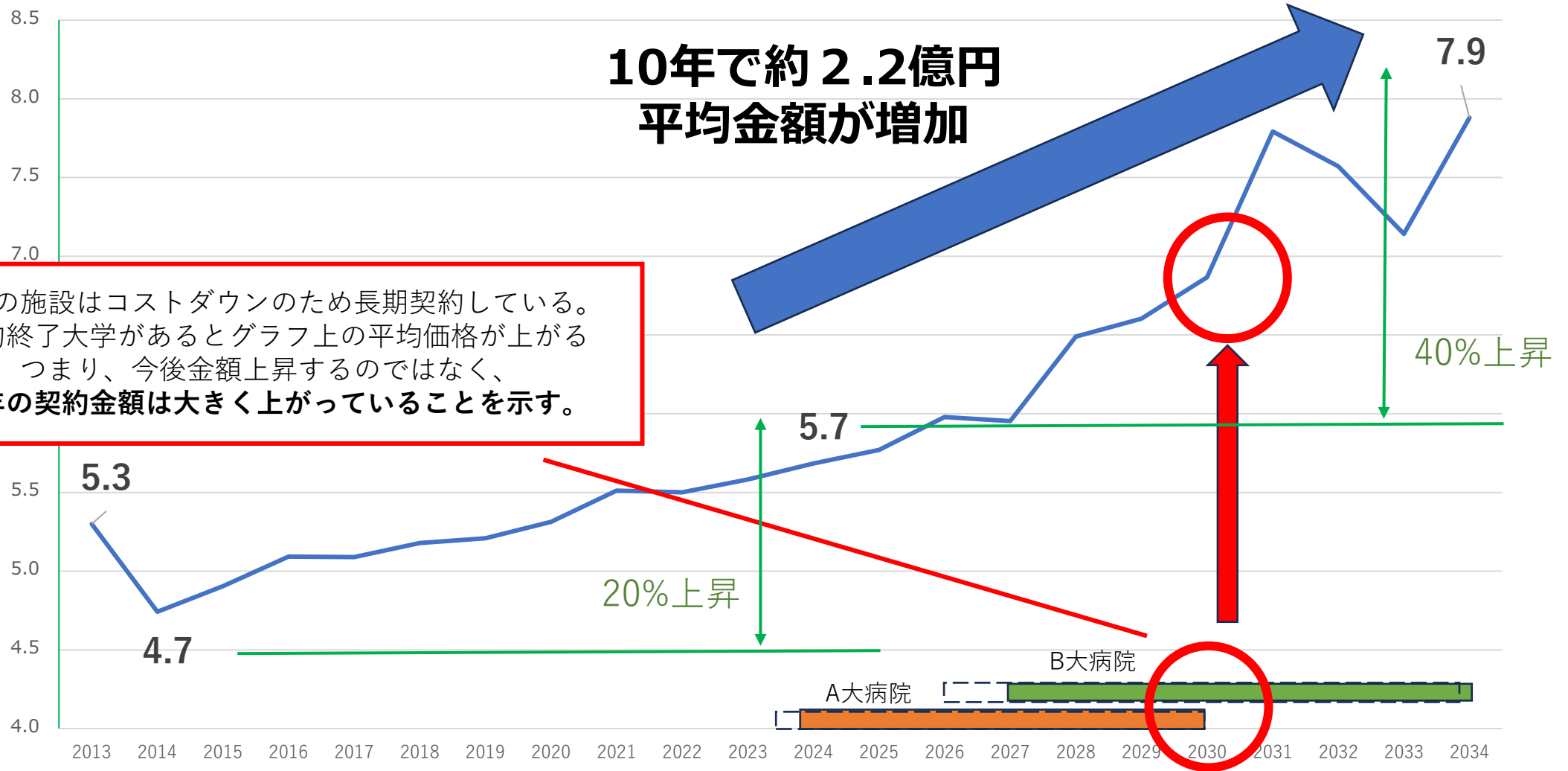
電子カルテシステムについて

電子カルテ支払金額の推移

平均金額（億円/年）

10年で約2.2億円
平均金額が増加

多くの施設はコストダウンのため長期契約している。
契約終了大学があるとグラフ上の平均価格が上がる
つまり、今後金額上昇するのではなく、
近年の契約金額は大きく上がっていることを示す。



※2025年2月 大学病院 医療情報 企画関連部長会 集計結果を国立大学病院長会議が加工

※国立大学30病院の平均値

物価上昇の推移と電子カルテの価格

「モノ」の価格は、この5年でおおよそ「倍」になっている

ソフトウェア価格の推移：Microsoft Office 365 2025年値上げ \$6.99/月 → \$9.99/月 (43%上昇 / 10年)
Oracle ライセンス 値上げ率 年率4% → 5年で2割上昇

メモリ価格の推移：¼年ごとに2~3%上昇 ⇒ 5年で1.8倍

米ドルのレートは、この5年でおおよそ5割上昇している

2020年3月 1ドル = 102.55円 → 2025年2月 1ドル = 154.26円

「労働力」（情報ドメイン）の価格は、この5年でおおよそ2割上昇している

情報通信業 給与上昇率 3~4%/年 （2022年 2.27% (経団連) 2023年3.86% (厚労省))

病院情報システム（5年リース）の費用構成は、一般的に「モノ4割、ヒト6割」である

$$2.0 \times 1.5 \times 0.4 + 1.2 \times 0.6 = 1.92$$

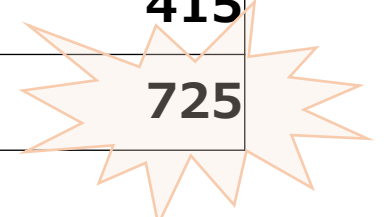
電子カルテシステムの価格は、この5年で、おおよそ「倍」に「自然増」している

※ 最小の見積りでも、大凡1.6倍になっている $1.5 \times 1.5 \times 0.4 + 1.1 \times 0.6 = 1.56$

医師の職階別年間給与について

国立大学病院と他病院との給与比較

区分	国立大学病院 本院 人数	(単位：万円)			(単位：億円)
		年間給与 国立大学病院 (HOMAS2 職階別 平均値) A	年間給与 国立独立行政法人 病院群 (平均値) B	差額 B - A	年間必要金額
教授	1,478	1,415	1,807	392	58
准教授	1,352	1,206	1,566	360	49
講師	2,056	1,153	1,414	261	54
助教 (助手含む)	6,753	1,049	1,270	221	149
医員	6,215	471	1,139	668	415
合計	17,854				725

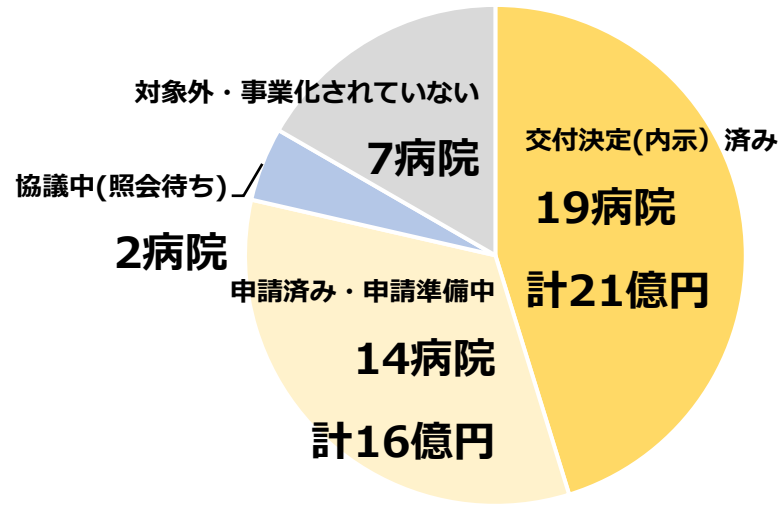


地域医療介護総合確保基金・重点支援地方交付金 措置見込調査について

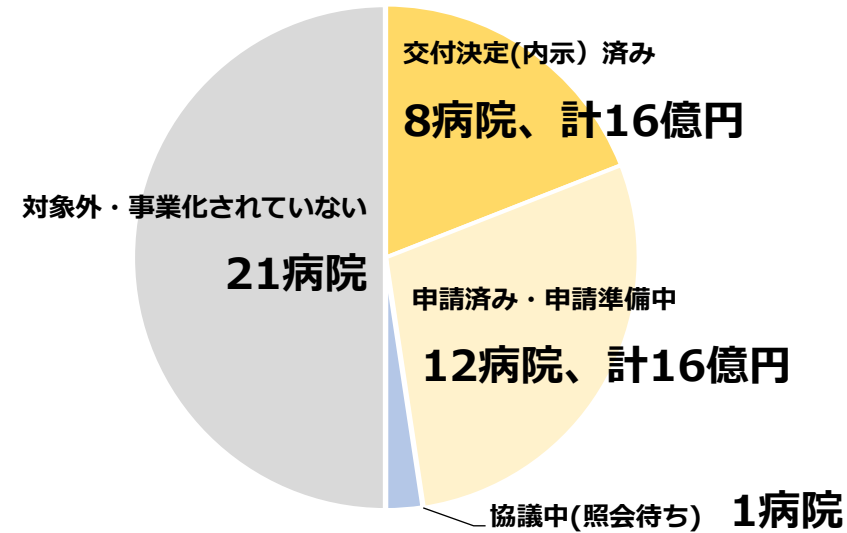
地域医療介護総合確保基金措置見込について

【措置見込】

① 地域医療勤務環境改善体制整備特別事業



② 勤務環境改善医師派遣等推進事業

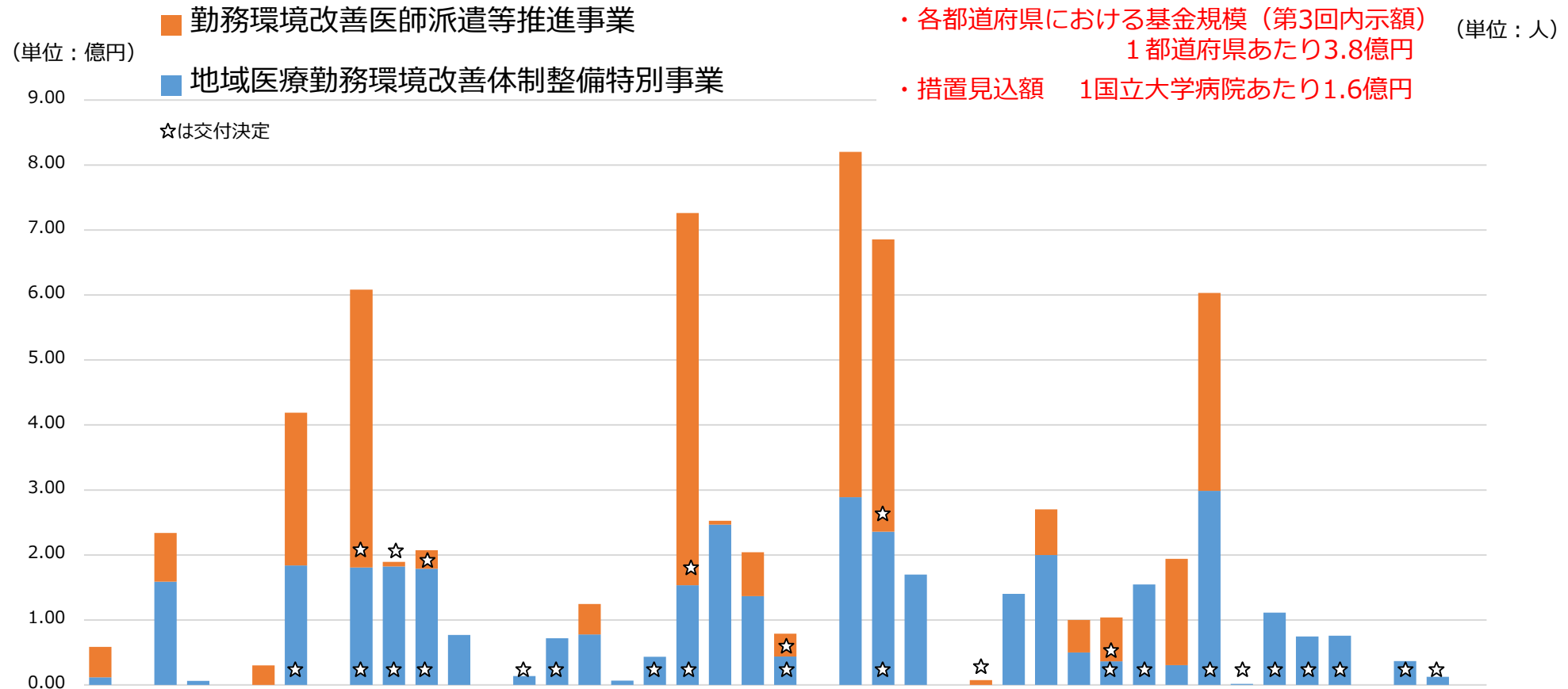


- 交付決定済み、申請済み等の病院が増えてきている
 - ① 体制整備特別事業 前回19病院 → **今回33病院**
 - ② 医師派遣等推進事業 前回10病院 → **今回20病院**
- 事業化していない自治体や対象外となった病院がある
 - ① 体制整備特別事業 前回8病院 → **今回7病院**
 - ② 医師派遣等推進事業 前回19病院 → **今回21病院**

➡ 医師の働き方改革や医師派遣には、本支援事業が重要な推進役を果たしている。各大学病院は自治体の基金措置状況にかかわらず、地域医療貢献に尽力しており、今後とも自治体の支援を期待している。

地域医療介護総合確保基金措置見込について

【措置見込額】 (交付決定額又は申請額)

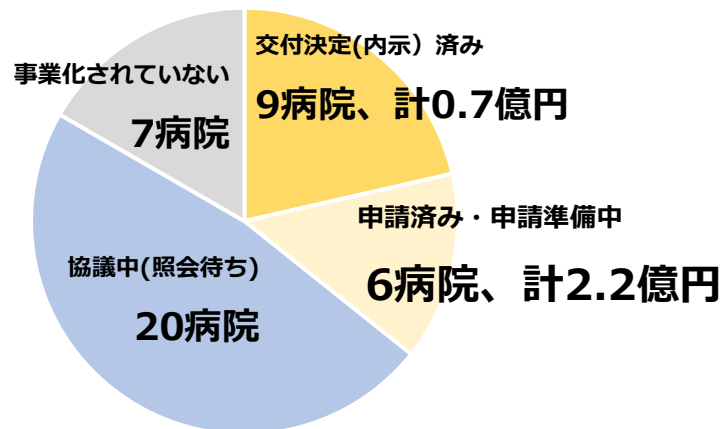


※42国立大学病院を集計、2月26日現在

※各都道府県における基金規模 1 都道府県あたりは40で除して算出、1国立大学病院あたりは42で除して算出

重点支援地方交付金措置見込について

【措置見込】



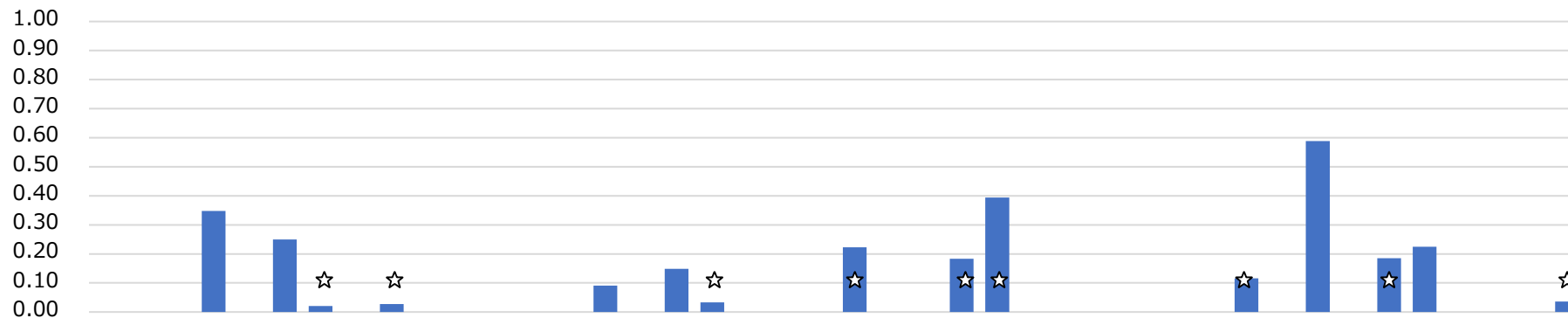
➡ 重点支援地方交付金による支援措置に向け、自治体との折衝等の積極的な取組が必要

【措置見込額】

(交付決定額又は申請額) ☆は交付決定

(単位：億円)

措置見込額 15病院、2.9億円



※42国立大学病院、2月26日現在

国立大学病院長会議 令和6年現在の体制・組織図

国立大学病院長会議の概要

2024.10.1現在

- 名称：一般社団法人国立大学病院長会議（NUHC National University Hospital Council of Japan）
- 所在地：東京都文京区
- 組織：全国42大学44附属病院長で構成する団体

理事（会長）	大鳥精司	（千葉大学医学部附属病院長）
理事（副会長）	田中 栄	（東京大学医学部附属病院長）
理事（副会長）	野々村祝夫	（大阪大学医学部附属病院長）
理事	渥美達也	（北海道大学病院長）
理事	張替秀郎	（東北大学病院長）
理事	藤井靖久	（東京科学大学病院長）
理事	丸山彰一	（名古屋大学医学部附属病院長）
理事	高折晃史	（京都大学医学部附属病院長）
理事	前田嘉信	（岡山大学病院長）
理事	中村雅史	（九州大学病院長）
理事	塩崎英司	（事務局長）
監事	渡邊博之	（秋田大学医学部附属病院長）
監事	鈴木裕子	（鈴木裕子公認会計士事務所）

• 目的

国立大学法人法に定める法人により開設された病院（国立大学病院）における診療、教育及び研究に係る諸問題並びにこれに関連する重要事項について協議し、相互の理解を深めるとともに、意見の統一を図り、我が国における医学・歯学・医療の進捗発展に寄与する。

国立大学病院長会議 組織図

2024.10.1現在

